

辻堂がビッグシティに生まれ変わる! 湘南C-X都市再生プロジェクト

カントク跡地開発である湘南C-X(シークロス)。湘南最大級の開発と言われ、期待が高まっている。具体的にとの様な開発が行われ、どの様なまちに再生されるのでしょうか? 藤沢市役所 辻堂駅前都市再生担当の長瀬光市参事に伺いました。



交通広場(北口)の全体イメージ(模型)

② 都市構造の変革

しまいました。
2ヘクタールもの駅前の工業用地が「気になく」なるが、辻堂駅前前はライフタウンと茅ヶ崎へとつながる重要な交通結節点になっています。横浜湘南道路の整備により、相模縦貫道路などとの高速道路網がネットワーク化され、都市拠点として、新たな交通道路基盤の整備も含めた、広域的なまちへと都市構造を改革しなければならぬのです。

③ 少子高齢化

現在藤沢市は、65歳以上の人口が約13%を占める。安心・安全に住むことができるまちづくりを目指しています。

以上の3つの課題を解決していくことが、都市再生に繋がるとして、藤沢市では同課題の解消に向けスタートしました。

Q: 湘南C-Xの位置づけはいかがですか?
A: 湘南C-Xは、藤沢市の5核の1つとして辻堂駅を中心とした都市拠点となっており、広域的・複合的な都市機能が求められ、相模川以東の広域連携を強化していくうえでも有利な位置を占めています。また、東海都市圏ベルト上の都市拠点としても多様な機能の集積は湘南の価値をさらに向上させる可能性をもっています。

Q: 都市再生を実現するには何が必要でしょうか?

A: 通常、工場が撤退すると跡地は、通常マンションになるケースが多いですが関東特殊工場(カントク)が撤退することになった平成15年には、藤沢市として次の3つの課題がありました。

① 産業構造の変革

有数の工業都市であった藤沢市においても、東南アジアへの製造部門の進出やパブル崩壊に伴い工場が次々に閉鎖され、平成2年に3兆円だった製品出荷額が1兆円へ減少し、3万9千人の従業員数も2万9千人となり、豊かな財政を支える財源がなくなつて

Q: 湘南C-X地区はどのような将来像をお持ちですか?

A: 湘南C-X地区の将来像については、次の3つのイメージを持っています。

① まちの活動が育てる地域の先導的な産業拠点

「産・学・官」の連携や、新たな企業の進出などにより地域を

土地利用計画・6つの都市機能ゾーン



支える付加価値の高い産業拠点とするもの。
② 多様な都市活動が広域的に連携する拠点
交通基盤の充実を図り行政・民間などの活動主体の枠組みを越えた広域的な都市機能の充実を図る。

③ 湘南ならではのライフスタイルを展開・発信する拠点
湘南ブランドの発信や、湘南の環境と文化に育まれた自由なスタイルを演出する。

そこで湘南C-X都市再生事業の取り組みとしては、都市再生機構が主体となつて、地権者の同意の上で土地区画整理事業を行うこととし、街路事業は藤沢市になりかわり、都市再生機構が実施します。また、辻堂駅は大正5年に開設以来約90年が経過し、平成15年に調査したところによると辻堂駅利用者は一約9万人となつており、JRの輸送力を増強するため、JR東日本と藤沢市、茅ヶ崎市の共同事業で、駅舎改良、自由通路ホームの拡幅など辻堂駅改良を実施します。

また、幹線道路の状況については、辻堂駅遠藤線から羽鳥立地地下直を通過して南へ向

の同意の上で土地区画整理事業を行うこととし、街路事業は藤沢市になりかわり、都市再生機構が実施します。また、辻堂駅は大正5年に開設以来約90年が経過し、平成15年に調査したところによると辻堂駅利用者は一約9万人となつており、JRの輸送力を増強するため、JR東日本と藤沢市、茅ヶ崎市の共同事業で、駅舎改良、自由通路ホームの拡幅など辻堂駅改良を実施します。

また、幹線道路の状況については、辻堂駅遠藤線から羽鳥立地地下直を通過して南へ向

平成17年に調査した「まちづくりドライン」都計法地区に基づき、土地の確保、歩道整備、駐輪場の確保、建物・自販機の出入れをさだめ、美しい街並みや、インを誘導して、

Q: 地域の住居や要望は?

A: 平成16年に住民アンケート意見は、駅を抜く輸送力を上げ安



交通広場(北口)のデッキイメージ



詳しい情報については 藤沢市のホームページ http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tujitosi/index_t.shtml

平成22年の暮れ予定です。
まちづくりを誘導した「まちづくりドライン」都計法地区に基づき、土地の確保、歩道整備、駐輪場の確保、建物・自販機の出入れをさだめ、美しい街並みや、インを誘導して、

Q: 地域の住居や要望は?

A: 平成16年に住民アンケート意見は、駅を抜く輸送力を上げ安